

# 男女共同参画の視点を生かした 地域における暮らしの再生に関する事例 (東日本大震災からの復興)

内閣府男女共同参画局

(平成24年1月12日時点)

東日本大震災の被災地においては、暮らしの再生に向け、新たな雇用機会の創出や地域コミュニティの再構築に取り組んでいます。地域コミュニティは、家庭とともに人々にとって最も身近な暮らしの場であり、そこでの男女共同参画の推進は、男女共同参画社会の実現にとって重要です。

以下は、男女共同参画の視点を生かした地域における暮らしの再生に関する取組等の事例ですので、参考にしてください。

## 1. セミナー等の実施による起業・就労支援

経済の牽引者としての女性の役割を認識し、女性による経済活動の機会を創造する観点から、女性の起業・就労を支援する取組が始まっています。

### ○女性のための起業セミナーの開催

岩手県男女共同参画センターは、民間企業からの助成事業「農山漁村等に携わる女性のためのITを活用した起業支援事業」を受託し、沿岸被災地の久慈市において女性起業セミナーを開催しています。



### ○女性の起業を支援する専用ルームの設置

もりおか女性センターでは、ITを活用した女性の起業を応援する専用ルームを設置し、講座、セミナー等を開催し、女性の起業を支援しています。

起業プランの作成やインターネットの活用に関する講座を実施するほか、起業相談や情報活用の支援も行っています。



### ○外国人女性のための資格取得・就労支援

特定非営利活動法人難民支援協会は、宮城県気仙沼市と岩手県陸前高田市、大船渡市在住の外国人被災女性を対象に、ホームヘルパー2級の取得と、介護施設での就職を目指した支援を実施しています。

民間の資格取得講座を無償提供しつつ、行政や地元ボランティアとの協働で、定期的な勉強会を開催しています。また、日本語教師の協力で、やさしい日本語による補助教材を作成するなど、言葉の面からのサポートに力を入れています。

